

第104回 全国高校野球選手権大会

仙台育英高校の初優勝おめでとうございます！

東北勢初の甲子園優勝！東北が熱い夏が終わりました。

ついに優勝旗が白河の関をこえる歴史的な瞬間を迎えました！！

本当に本当におめでとうございます！そして感動をありがとうございました！

決勝戦 仙台育英(宮城) × 下関国際(山口) 私は仕事で観戦は出来ませんでしたが、心でずっと応援していました。家に帰ってからニュースで観ましたが、高校生とは思えない凛々しく逞しい選手たちを見ていると感動～。試合の一挙一動に全力を注ぐ姿には、涙してしまいましたね～

高校野球は地方大会から、勝敗に嬉し涙あり悔し涙あり… 両校に感情移入してしまいます(;▽;)

仙台育英高校野球部・須江監督のインタビューがありました。万感の思いの中、すべてのことに感謝しているのでしょうか、神々しい表情が印象的でした。

このインタビューが心に刺さったー！

新型コロナウイルスにより、私たちとは違った学生生活を強いられている今の若者たちに思いが募りました。そして全世代の心の叫びにも通じて、涙涙でした。

ひと言ひと言が温かく、心に響きました。せつくなのでもう一度読んでみたいと思います。

インタビュー:「今年の3年生は入学した時から、新型コロナウイルスの感染に翻弄されてきました。

それを乗り越えての優勝。3年生にどんな言葉をかけたいですか。」

須江監督:「入学どころか、たぶんおそらく中学校の卒業式もちゃんとできなくて。

高校生活ってというのは、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは全く違うんです。

青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部ダメだ、ダメだと言われて。

活動してても、どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で。

でも本当にあきらめないでやってくれたこと、でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、

全国の高校生みんなが本当にやってくれて。例えば、今日の下関国際さんもそうですけど、

大阪桐蔭さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんなときでも、あきらめないで

暗い中でも走っていったので。本当に、すべての高校生の努力のたまものが、ただただ最後、

僕たちがここに立ったというだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらと思います。」

本当に感動しました。そして、私事です。息子が高校球児だったころを思い出しました。

ちなみに、息子は第97回全国高等学校野球選手権宮城大会の準決勝で池田社長の母校に負けてしまいました。

この年も宮城大会では仙台育英が優勝したのでした(>.<) 高校球児には毎回熱いパワーをもらっております。

白河の関越えの偉業を東北代表として達成していただいた育英の皆さんに、ひたすら感謝です！お疲れ様でした。

これからもこの感動が東北各県に繋がるとを信じています！ありがとう！！福島聖光学院も立派でした☆

東北勢 選手権 決勝

①1915 秋田中(秋田) ⑥2011 光星学院(青森)

②1969 三沢(青森) ⑦2012 光星学院(青森)

③1971 磐城(福島) ⑧2015 仙台育英(宮城)

④1989 仙台育英(宮城) ⑨2018 金足農(秋田)

⑤2003 東北(宮城) ⑩2022 仙台育英(宮城)



今号も最後までお読みいただきまして有難うございました。

編集部
佐藤 美香